

健やか親子 21 第 1 回全国大会
「新世紀の母子保健～やさしい社会づくりをめざして～」

司会 ただ今より、健やか親子 21 第 1 回全国大会 新世紀の母子保健～やさしい社会づくりをめざして～ を開会いたします。最初に主催者を代表いたしまして、坂口力厚生労働大臣よりご挨拶を申し上げます。

開会挨拶

坂口 力厚生労働大臣

(代読 雇用均等・児童家庭局長 岩田 喜美枝)

皆様、おはようございます。坂口厚生労働大臣、日頃から母子保健の分野は大変ご熱心に取り組んでいただいております。大臣ご自身、医者でありになりますし、小児科の臨床経験もお持ちだと伺っております。それで先頭に立って、この分野を日頃取り組んでいただいているんですが、今日は国会などの関係で、どうしても参ることができません。大変残念でございますが、私から大臣のご挨拶を代読させていただきたいと思っております。

本日は、お忙しい中を多数の皆様にお集まりいただき、ありがとうございます。「健やか親子 21」第 1 回全国大会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。近年、少子高齢社会を迎え、次代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つための環境づくりが大きな国民的課題となっております。そのような中で厚生労働省におきまして、母子健康手帳の交付や健康診査などを通じまして、20 世紀中に達成した我が国の母子保健の成果を踏まえ、小児医療体制や地域母子保健活動の水準を低下させないための方策を提示し、妊産婦死亡や乳幼児の事故死を減少させるなどの残された課題と、思春期の心と体の健康や、児童虐待などの新たな課題を整理し、21 世紀初頭の 10 年間の母子保健分野における取組を示した「健やか親子 21」を策定し、今年より国民運動として展開しているところでございます。この国民運動計画の推進にあたっては、国民一人一人が自ら積極的に取り組むとともに、国や地方公共団体はもとより、広く関係団体が連携し、子どもの育ちを支援する社会の実現を図っていくことが重要であります。

この全国大会もその一環として開催されるものでありますが、第 1 回の大会でございます。このテーマは「新世紀の母子保健～やさしい社会づくりをめざして～」とさせていただきます。このテーマは、この新世紀におきまして、生涯を通じた健康の出発点であり、また次世代を健やかに育てるための基盤となる母子保健に関する取組を推進して、すべての子どもや妊産婦、不妊の夫婦などに「やさしい社会」の実現をめざしていこうとの趣旨から掲げたものでございます。また、本日のパネルディスカッションのテーマになっております「地域ぐるみの児童虐待予防」は、最近、社会問題の一つとな

っております児童虐待に対し、地域でどのようにして予防対策を進めていくかについて、議論を深めていくものでございます。本大会を契機に多くの皆様のご参加、ご協力のもとで、地域における児童虐待予防対策を含めて、「健やか親子21」がいっそう推進されますことを期待しております。終わりに本大会の開催にあたりご尽力いただきました、関係各位に対しまして、厚く御礼を申し上げますとともに、本日ご参集の皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。平成13年6月27日、厚生労働大臣坂口力。

以上、お預かりしてまいりました。ご挨拶を代読させていただきました。厚生労働省雇用均等・児童家庭局の局長をいたしております岩田と申します。1月に中央省庁の再編整備がございまして、従来の厚生省児童家庭局と労働省の女性局が統合されてできました新しい体制でございます。母子保健課を中心に局を上げて、この「健やか親子21」、国民運動でございますが、皆様方のご協力を得て、前向きに進めてまいりたいと思っております。今日は早朝から、また全国からお集まりいただきまして、ありがとうございます。どうぞ一日、積極的にご参加していただきまして、よろしく願い申し上げます。どうもありがとうございました。